

学校教育目標 **感じる つながる 自分から 「ありがとう」 あふれる御所南の子ども**
- **ちがうって すてき ちがうって おもしろい** -

めざす子ども像 (主体的に、持力を磨き、発揮することができる子ども)

- ・かながえぬく子 自ら進んで学び、自分事として、さまざまに考え抜き、判断し、表現できる子
- ・がんばりとおす子 自分で決めたことや協働することにくじけず、あきらめず行動し続ける子
- ・やさしさあふれる子 自己肯定感を育み、いつでもだれとでも思いやりをもって互いを認め合う子
- ・きたえつづける子 スポーツを愛し、自らの健康な体と心を**育みチャレンジし続ける子**

◆自分に自信をもち、自分から意欲的に取り組む子どもを育てます

- (1) できる自分、できそうな自分を実感する。(キャリアパスポートの活用)
- (2) なりたい自分を明確にもち、失敗を恐れず挑戦する。(はかせの時間)

◆人とのつながりを大切にして、思いやりのある子どもを育てます

- (1) あいさつ 「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「よろしく」
- (2) かかわりあう子 認め合う子 「ありがとう」「ごめんなさい」「すごいね」
- (3) 自分も友達も大切にする子 「がんばってるね」「だいじょうぶ?」
- (4) 道徳科の重点項目を「主として人との関わりに関すること『親切・思いやり』『相互理解・寛容』に定め月に1回道徳の授業を行う。

◆自他を尊重し、お互いを高め合う集団をつくと共に自ら律する力を育てます

- (1) 日直や当番活動、係活動など、常時活動を充実する。
- (2) 「かがやく御所南の子」の取組を基に、約束やルール・規律等を守ることを徹底する。
- (3) 善悪の判断をしっかりとし、絶対いじめを許さない強い気持ちをもつ。
- (4) 多様性を認め、共に学びあえる。
- (5) 毎月の1週目に、「きずな週間」を設け、友達とのかかわりを考える。
- (6) みんなのために何ができるのかを考え、実行する。

◆個に応じた指導と協働的な学びを大切にして、主体的に学び続ける力をつけます

☆40分授業 午前中5コマ

- (1) 共有の時間 → 学習課題を設定する。学習のめあてを自分のものにする。
- (2) 学習計画を立てる。
- (3) 個別の時間 → 個に応じた支援とICTの活用。
- (4) 協働の時間 → 自分の考えと友達の見えながら協働的に学ぶ。
- (5) 学級(学年)全体での学習→考えを出し合い学び合う 質の高い気付き。
- (6) 確かになった自分の考えを書く。わかったことを自分の言葉で書く。
- (7) 共有の時間 → 学習を振り返る。学習してわかったこと自分の言葉で書く。

◆実践を通して、望ましい生活習慣を確立し、健やかな体をつくります

- (1) あらゆる友だちと運動の楽しさや喜びが味わえる体育学習の充実
- (2) 家庭と連携して、「早寝 早起き 朝ごはん」の徹底「親子読書」
- (3) 食事、休養・睡眠など自ら健康に目を向ける取組
スポーツテスト、生活アンケートの活用
- (4) 自らの命を守り抜くため、防災・安全に対する意識を高める取組
年間5回の避難訓練
(地震、火災の設定を現実に近いものにして行う。不審者侵入など) シェイクアウト
交通安全教室や防犯教室、薬物乱用の防止教室、救命教室など実施



小中一貫教育目標 **未来に輝く小中一貫コミュニティ・スクールの創造**
目指す児童・生徒像 夢とあこがれをもち、自ら未来を切り拓き、よりよい社会を創造していく児童・生徒

◎小中一貫教育により、9年間を通して子どもを育てる環境をつくりたい力 自ら見つけ、自ら考え、学んだことを実社会や実生活に生かす力

- 5・4制の実施と小中交流
 - ・御所南小学校と御所東小・高倉小学校の6年生が、京都御池中学校校舎で学ぶ
 - ・外国語・算数科・理科・音楽科で、中学校教員と小学校教員の協同授業
 - ・生徒会や委員会活動、リーダー研修等に参加



◆読解力・探究力・論理的思考力を高め、確かな学力をつけます

- (1) 思考表現力を身につける。
 - ・考え方を身につける。(低:比較,分類,広める 中:関連付ける,共通点を見つける 高:推論する,多面的に見る)
 - ・考えたことを筋道立てて説明する。(考えの深化を図る)
- (2) 記述力を身につける。
 - ・表現様式をとらえ、目的意識と相手意識をもって様式に合わせて書く。
 - ・字数や時間を制限した中で、自分の考えを書く。
- (3) 読解の時間
 - ・1～6年は、15時間。(3年～6年はプラス1時間で 1・2年は、剰余時間で)
 - ・テキストの種類や働きをつかみ、読解力の基礎を養う。
- (4) 読書力の育成
 - ・朝の帯時間15分を、年間70回程度実施
 - ・「読書くらぶ」1年・3年15時間 2年5時間(剰余時間で)
- (5) 理科、音楽科など、専門性を生かし、系統的に育む
 - ・6・5・4・3年では、音楽科を専科教員が行う。
 - ・5・4・3年では、理科を専科教員が行う。
 - ・6年では、中学校教員と小学校教員による協同授業
- (6) グローバル化時代を生きるための実践的な英語力を身につける
 - ・3・4・5年では英語を専科教員が行う。6年は中学校教員と協同授業で行う
 - ・1～6年の系統的な英語活動



◆本物に出会うことで学ぶ意欲を高め、探究力と豊かな人間性を育てます

【生活科や総合コミュニティ「かがやき」】探究力と生き方
1, 2年 …生活科で御苑の豊かな自然、まち探検。スタートカリキュラム
3年～6年…(前期「伝統」) 伝統文化や伝統工芸など地域に学ぶ。
(後期「創造」) 課題にそって考え、自己を創造する。

【宿泊学習や遠足】協働活動

- 1年 宝が池 2年 大原稲刈り 3年 京都駅
- 4年 琵琶湖疏水 5年 花背山の家 6年 修学旅行

◆地域の力・保護者の力・学校の力をもとに地域に誇りをもち、よき町衆としての資質を育てます

- (1) 御所南コミュニティ(今年度23年目)
 - ・80人のボランティア・コーディネーター(地域の方、保護者)
 - ・6つの部会に分かれて、子どもたちを支援
- (2) 200人のコミュニティ・ティーチャー
 - ・生活科や総合的な学習を中心に ・各方面の専門家による授業



学校教育目標 **感じる つながる 自分から 「ありがとう」 あふれる御所南の子ども**
 - **ちがうって すてき ちがうって おもしろい** -

小中一貫教育目標 **未来に輝く小中一貫コミュニティ・スクールの創造**
 目指す児童・生徒像 **夢とあこがれをもち、自ら未来を切り拓き、よりよい社会を創造していく児童・生徒**

本校の子どもたちは、地域や家庭の温かさの中で、互いに思いやり尊重しながら行動することのできる子どもたちが多いです。また現代的な諸課題や多くの他者と熟議する力もあります。一方で、相手に合わせて自分の意見が言えなかったり、受身の姿勢が見られたりするところもあります。これからの時代を生き抜くために、多様な他者と協働しながら最適解を見出していく力と共に、自分事として本気で課題に向き合ったり、熱量をもって自分の考えやおもいを語ったり、対立する意見もおそれずに言えたりといった、自分らしく生きぬく力を身に付けてほしいと考えています。

そこで1コマ45分の授業を40分授業にし、(余った5分を集めて)生み出した時間を、子どもたちが学ぶ楽しさを味わうことができるように工夫します。たとえば、学びを繰り返す、技能を身に付ける時間と、個別で学習する時間、個別で自分の好きなことを追究するハカセの時間、体験を重視して社会の人とも協働で課題を探究していく時間をはっきりさせ、学ぶ楽しさを味わわせ、自信をつけ自己肯定感を高めたいと考えています。ただし、年間の授業時数や授業内容を変えることはありません。どうぞご理解の程よろしくをお願いします。

特色ある教育課程の実践

「40分授業 午前5コマ」

学校独自の特色ある活動等に生かします

(文部科学省 研究指定校)

	月	火	水	木	金
8:00	登校				
8:20	健康観察・朝の会				
8:30	1	1	1	1	1
8:40					
9:20	2	2	2	2	2
9:25	中間休み				
10:05	3	3	3	3	3
10:25					
11:05	4	4	4	4	4
11:45					
11:50	5	5	5	5	5
12:30	給食				
13:15					
13:30	昼休み				
13:45	清掃				
14:05	ぐんぐんタイム				
14:15	6	6	6	6	6
14:45	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会

- 【午前の時間活用】**
【朝の集中しやすい時間を活用】
- 40分授業
 - ・単元の見通し、単元の計画立案(共有の時間)
 - ・情報収集、調べ学習、習熟(個別の時間)
 - ・議論、討議、話し合い(協働の時間)
 1時間の授業形態をはっきりとさせ、子どもも教師も見通しをもって40分の授業内容を精選していく。
 - 午前5コマ
 - ・8:40～授業がスタート
 - ・中間休み 20分は今まで通り確保
 - ・給食開始時間 12:30～
 - ・給食時間 今まで通り確保

- 【午後の時間活用】**
- ・昼休み 確保
 - ・昼から40分の授業 ひとコマ
 - ハカセの時間の確保
 - ・自分の興味関心を個人探究し、夢中になる時間
 - ・昨年度から時間数を増やす
 - 放課後の時間
 - ・子どもたちの自由な残り遊び確保
 - ・放課後の時間を使って図書館へ

生み出した時間の使い方

ハカセの時間

4年生と5年生を対象に自分の好きなもの・こと、興味のあるもの・ことに、とことんこだわり、そのもの・ことを「もっと好きに」「もっと深める」ことができる時間です。

○○ハカセを目指していきます。

ぐんぐんタイム

★基礎学習の時間

ごしょみなみタイム

★総合の話し合いや学年集会の時間。

★学年で歌う、群読をするなどの表現活動 創作活動などの時間。

★自分のいのちやからだを知る保健の時間。

★読解の時間 読書くらぶ。はがき新聞作成の時間。

【めやすの下校時刻】 1年生・・・14:15 2年生・・・火(木)は14:55 月水(木)金は14:15
 3年生は火水(木)14:55 月(木)金14:15 4年生5年生・・・14:55
 ★日によって(ハカセの時間など)は、この時間の下校より遅くなる場合もあります。毎週の週予定を確認ください。

★6年生は、京都御池中学校で今まで通り45分授業で変更ありません。

わくわくわあく(家庭学習)

自らの学びをコーディネートするために

1・2年

学習習慣の確立
自分のペースを知る
反復中心

3・4年

学び方を知る
自分に合った学び方を選ぶ
自分のペースを考えて進める
反復+準備・復習
探究

5・6年

自分に合った学び方で自分の課題解決に向けて
自分の目的に向かって計画的に
教科の枠にとらわれない
探究
準備・復習

2年生～自分で見直しをもって、計画的に取り組めるようにする。
 いろいろな学び方を知って、自分に合った進め方を選ぶようにする。
 「課題」を見つければ「?ボード」を活用する。

家庭学習の内容で困った場合は、担任が相談のりります。または、毎日課題を伝えて提出することもできます。